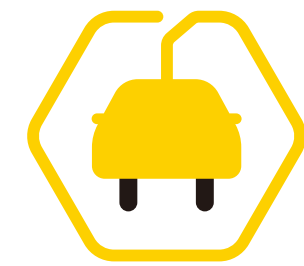


いざという時には、クルマが1500Wの電源にもなります



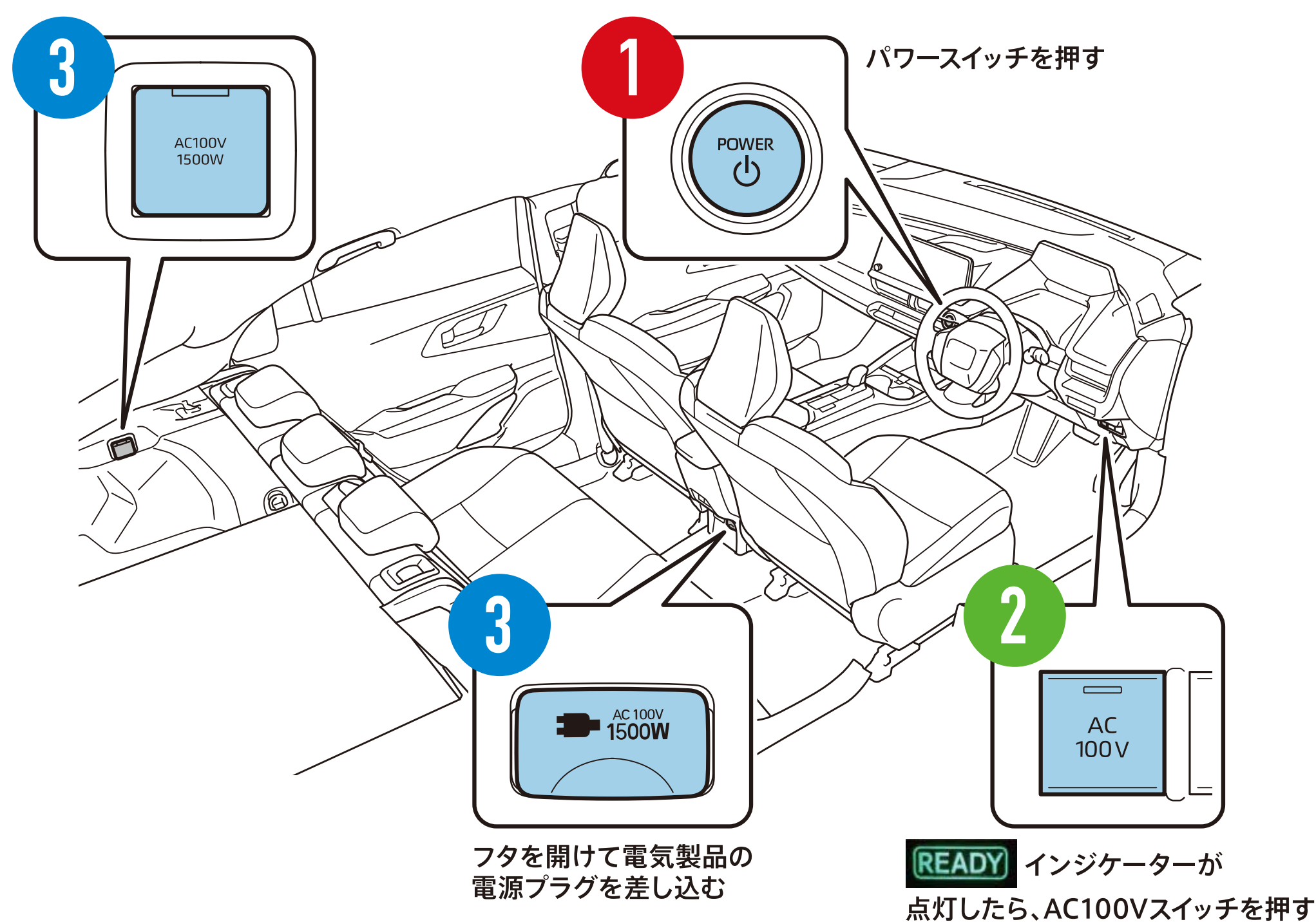
トヨタの給電

AC100V アクセサリーコンセントの使い方

AC100Vで消費電力の合計が1500W以下の電気製品を使うときの電源としてご使用ください。

車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。

プリウスの場合



1 パーキングブレーキがかかっていることを確認し、ブレーキをしっかりと踏みながらパワースイッチを押してください。

2 READYインジケーターが点灯したことを確認し、AC100Vスイッチを押してください。作動表示灯が点灯し、使用可能な状態になります。

AC100Vスイッチを押すたびに、コンセントのON/OFFが切り替わります。

3 フタを開けて、電気製品の電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

アース線のある電気製品を使用するときは、ラゲージルームのコンセントを使用し、市販の変換アダプターを使用してアース線を変換アダプターのアース端子に接続してください。

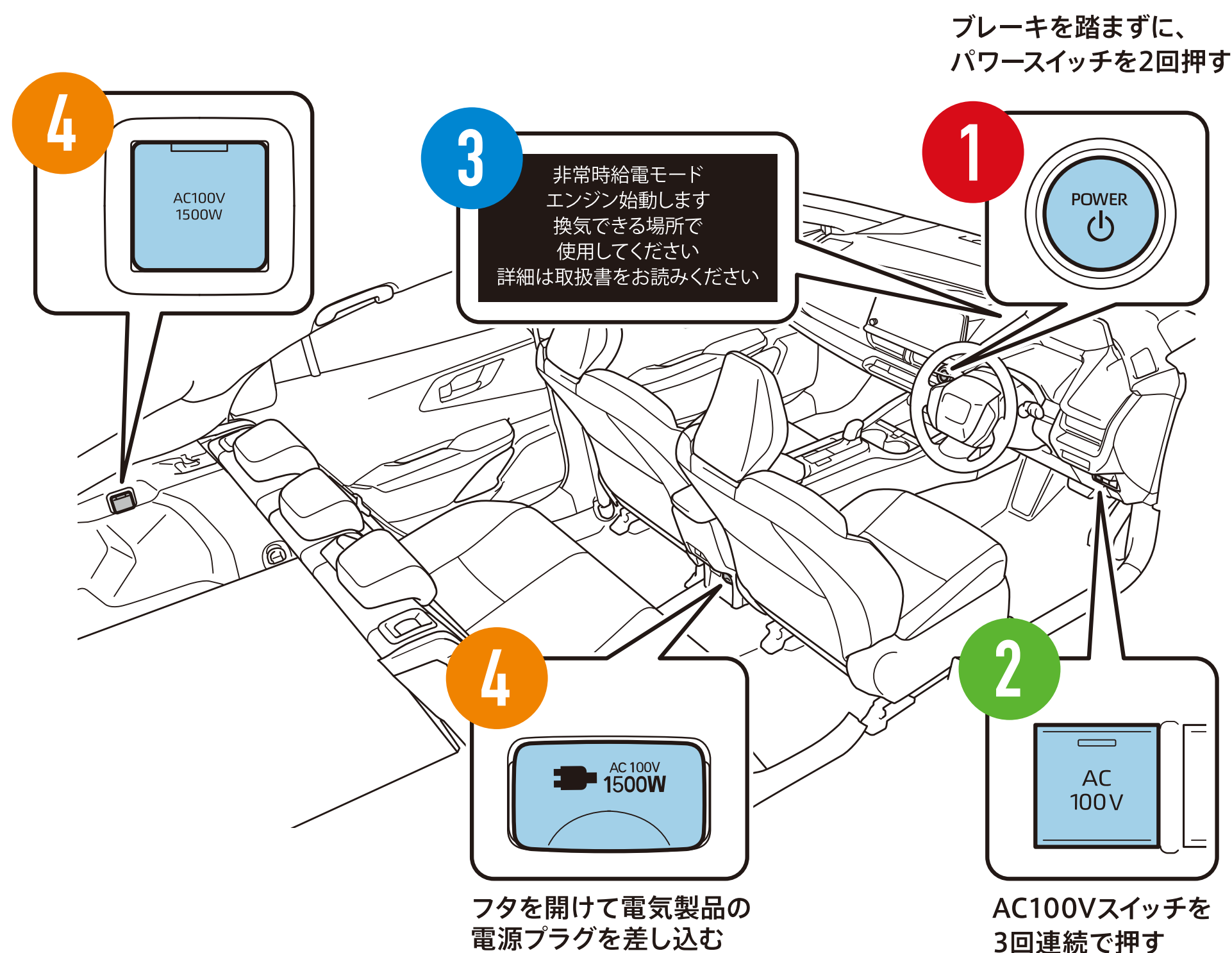
※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。
※接地極付きコンセントがない車種もあります。その場合は、アース線をアース端子に接続してください。

非常時給電システムの使い方

災害などによる非常時に電力が必要なとき、次の方法を行うことで、車両の走行機能を停止した状態で給電ができます。

車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。

プリウスの場合



1 ブレーキを踏まずに、パワースイッチを2回押して、「イグニッションON」状態にします。

※車両によってはブレーキを踏まずにパワースイッチを1回押して、「パワーON」状態になる車両もあります。
ブレーキを踏んでいると非常時給電システムは使用できません。
※「パワーON」と、マルチインフォメーションディスプレイに表示される車種もあります。

2 READYインジケーターが点灯していないことを確認し、AC100Vスイッチを3回連続で押してください。

AC100Vスイッチを押す間隔が1秒以上あかないように、連続して押してください。

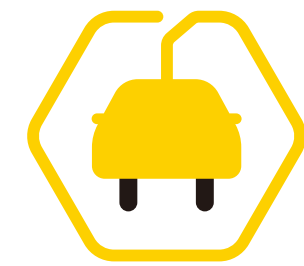
3 マルチインフォメーションディスプレイに非常時給電モードの説明が表示されたら起動完了となります。

4 フタを開けて、電気製品の電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

アース線のある電気製品を使用するときは、ラゲージルームのコンセントを使用し、市販の変換アダプターを使用してアース線を変換アダプターのアース端子に接続してください。

※ラゲージルーム内のコンセントがない車種もあります。
※接地極付きコンセントがない車種もあります。その場合は、アース線をアース端子に接続してください。

いざという時には、クルマが1500Wの電源にもなります



トヨタの給電

AC外部給電システムの使い方 (ヴィークルパワーコネクター)

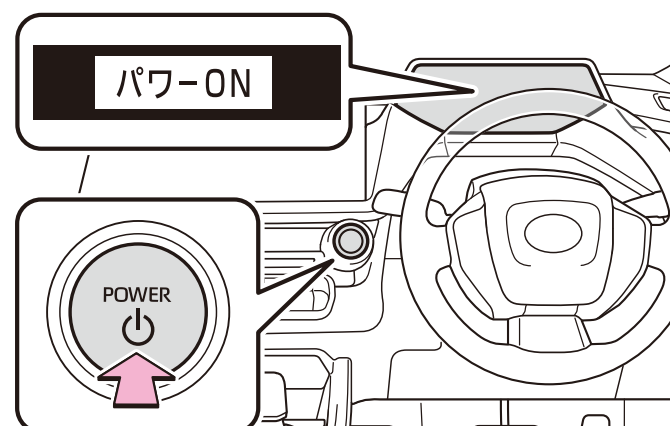
※マルチメディアディスプレイでの操作も可能です。

プリウス(PHEV)

マルチインフォメーションディスプレイでの操作の場合

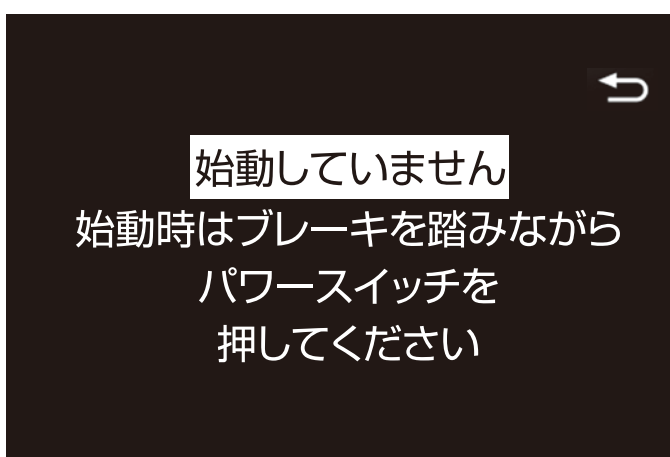
- 1 ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押して、ONにする。

メーターに“パワーON”と表示されていることを確認してください。ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが始動してしまい、AC外部給電システムが使用できません。ONにしたあとは、シフトレバーを操作しないでください。シフトポジションがPでないと、AC外部給電システムを使用できません。



- 2 始動操作に関するアドバイス画面が表示されたときは、メーター操作スイッチのを押して前の画面にもどす。

一定時間、メーター操作スイッチを操作しないと、始動操作に関するアドバイス画面が再表示されます。その場合は、そのつど を押して前の画面にもどしてください。

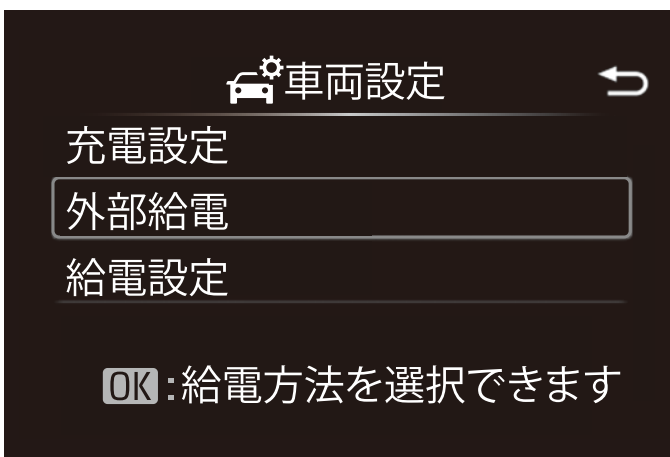


- 3 メーター操作スイッチのまたはを押してを選択する。

- 4 メーター操作スイッチのまたはを押して“車両設定”を選択し、を押し続ける。

- 5 メーター操作スイッチのまたはを押して“外部給電”を選択し、を押す。

外部給電モードの選択画面が表示されます。



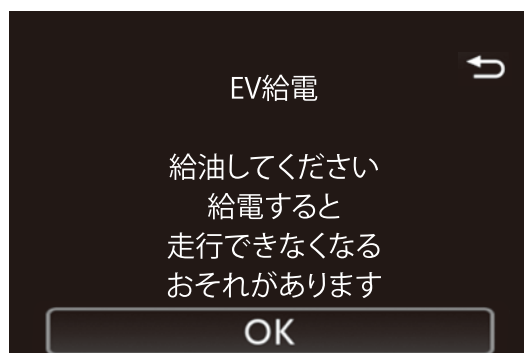
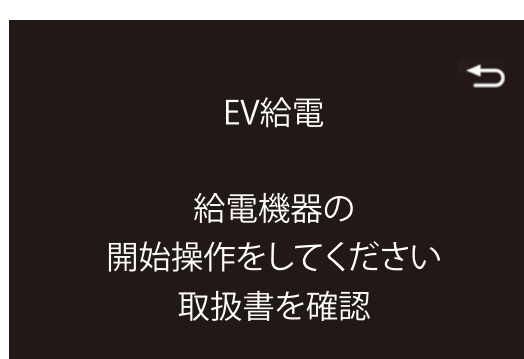
- 6 メーター操作スイッチのまたはを押してご希望の外部給電モードを選択し、を押す。

外部給電モードの選択画面上に、各モードでの外部給電可能時間の目安が表示されます。



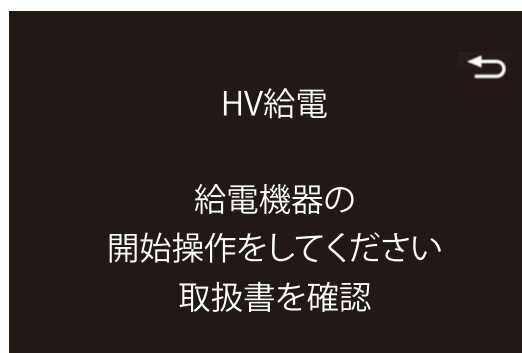
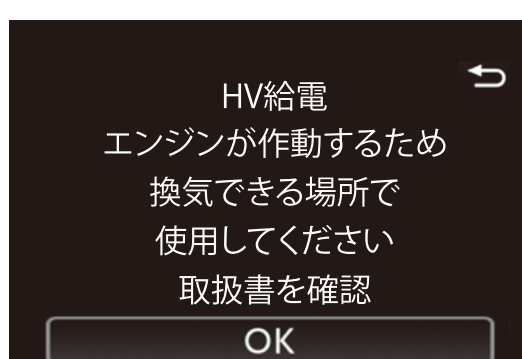
- 7 EV給電モードを選択した場合

操作ガイド画面の表示に従う。



- HV給電モードを選択した場合

使用上の注意に関する画面を確認してを押し、操作ガイド画面の表示に従う。



- 8 ヴィークルパワーコネクターを用意する。

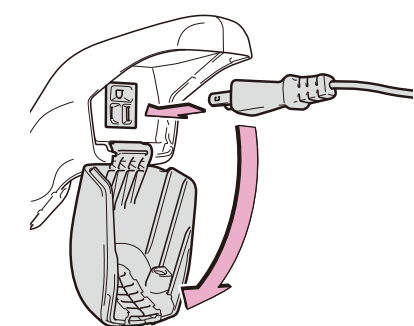
ヴィークルパワーコネクターに異常がないことを確認してください。



ヴィークルパワーコネクター

- 9 ヴィークルパワーコネクターの防水カバーを開け、使用する電気製品の電源プラグを車外コンセントに接続する。

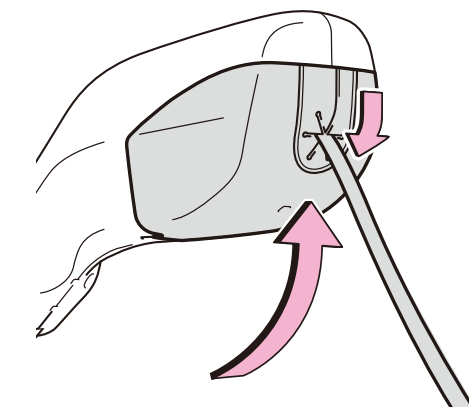
電源プラグは奥までしっかり挿し込んでください。



電気製品コンセント差込口

- 10 防水ゴムに電源コードを通し、防水カバーを閉じる。

防水カバーがロックされたことを確認してください。



- 11 充電リッドを開け、ヴィークルパワーコネクターを普通充電インレットに接続する。

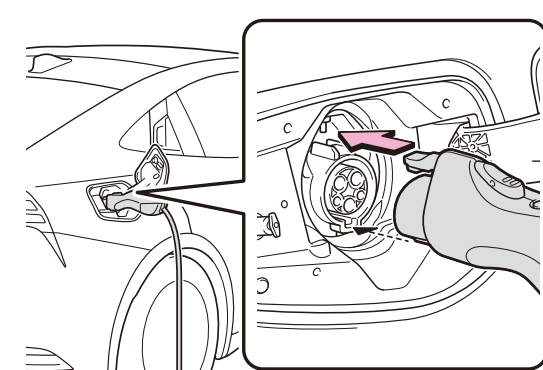
ヴィークルパワーコネクターの下側にあるガイドの位置を合わせて、まっすぐにいっぱいまで挿し込み、“カチッ”という音がして、確実にロックされたことを確認してください。



充電リッド

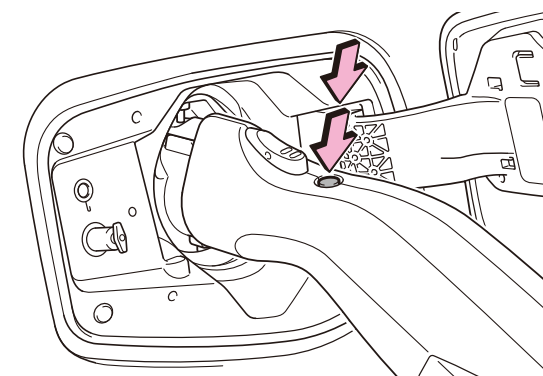


普通充電インレット



- 12 ヴィークルパワーコネクターの電源スイッチを2回連続で押す。

充電ポートの充電インジケーターがゆっくり点滅します。電源スイッチを2回連続で押す間隔が3秒以上空いたり、2回よりも多く押したりした場合は、充電インジケーターは点滅しません。



- 13 充電インジケーターが点灯したら、接続した電気製品の電源をONにする。

充電インジケーターは一定時間点滅します。点滅中はAC外部給電が開始されていないため、点灯にかるまでお待ちください。AC外部給電中は、マルチインフォメーションディスプレイの表示で、現在の外部給電状況をお知らせします。



充電インジケーター

2種類のモードについて

■ EV給電モード

駆動用電池に蓄えられている電力のみを使用してAC外部給電を行います。外部給電可能な駆動用電池の残量を下まわると、外部給電を終了します。

■ HV給電モード ※必ず屋外(換気の良い場所)でご使用ください。

AC外部給電中に外部給電可能な駆動用電池の残量を下まわると、エンジンが作動して外部給電を継続します。燃料残量警告灯が点灯すると、外部給電を終了します。